

江古田三丁目重度障害者グループホーム等整備事業に係る基本設計策定関係団体報告会

議事概要

- ・日時 令和6年12月10日(金) 11時00分～12時00分
- ・場所 区役所6階 第603会議室
- ・実施方法 会場及び Microsoft Teams によるオンライン配信(ハイブリッド形式)
- ・参加者 会場9名 オンライン1名
- ・区出席者等 障害福祉課:障害福祉サービス担当課長、障害者施設係長ほか3名
日本リック株式会社(運営事業者):福祉介護事業本部部長ほか2名
- ・配布資料 厚生委員会資料、1・2階平面図
- ・概要

(1) 基本設計について

①障害者施設係長より、投影資料に基づき、基本設計について説明。

②質疑応答

Q 参加者: カメラの設置数が1階と2階で異なるが、その理由を伺う。

A 区: 室内においてはカメラの設置数は同数であるが、室外の設置数が異なっている。
非常階段は1階から2階を見上げて写せるような配置になっていると設計会社から聞いている。

Q 参加者: 後から増設することも可能かと思うが、2階の重度の知的障害者は様々な行動をとることが想定されるため、後から見返せるように記録があると良いと思った。また、居室の洗面台について、2階の重度の知的障害者の方は、水で遊んでしまう恐れがあるが、入居される利用者の特性に合った対応及び配慮をお願いしたい。

A 事業者: 水道栓の調整等、個々の対応を行う予定。

Q 参加者: 通常浴室に導入するリフトの写真はあるか。

A 区: 写真はない。H型にレールを設置する全方向に動かせるリフトを想定しており、脱衣所から浴室まで移動できるものを考えている。機械浴室の脱衣所については、これから確認する。

Q 参加者: 平面図について、前は各居室に収納棚が配置されていたと思うが、今回の図面ではなくなっている。備付けにするのか、設置せず利用者の持ち込みにするのか等何か考えはあるか。

A 区: グループホームの基準上、開設までに居室内に収納スペースを設ける必要があるため、入居される前には配置する予定である。当初は備付けを想定していたが、居室内のレイアウトを自由にできるよう、後置きタイプの収納を配置する予定である。

- Q 参加者： 支援者の利き手や利用者の好きな向き等様々あると思うので、備付けでない方がよいのではないかと。また、収納棚の形も重要で、狭いスペースでは開き戸や引き出しより、引き戸や扉のないタイプの方が使い勝手が良い。利用者の好みもあるかと思うので、そこも含めて検討してほしい。
- A 区： 開設前に設置する必要があるため、入居される利用者個々に合わせたものを準備するのは難しいが、居室の広さや動線等総合的に判断して最適なものを準備していきたい。
- Q 参加者： コンセントの位置について、足を引っ掛けたりすると危険なため位置が非常に重要かと思う。現在参考に行っている施設等に聞きどのような場所に設置するのが望ましいのか検討してほしい。
- A 区： コンセントの位置については、今後の実施設計で決まる。設計会社にはコードが床に散らばりにくいような場所に設置するよう依頼している。注視していく。
- Q 参加者： 各居室に非常用コンセントは設置する予定か。
- A 区： 先ほど共有資料でご覧いただいた赤いエリアのみとなる。非常時に電力不足にならないよう、電源供給エリアをある程度集約する必要があるため、リビング、各階の居室2室と短期入所用居室、及び事務室に限定している。
- Q 参加者： 医療的ケア者は機械の持ち込みが多いことが想定されるが、1階居室のコンセント数は多めに設置する予定か。また、太陽光電源の供給エリアにする予定か。
- A 区： 今後検討していく。短期入所について、先ほど説明した通り、非常時の電源供給エリアである。また、持ち込み機械が多いことは想定できるため、コンセント数についても注視していく。
- Q 参加者： 短期入所居室について、平面図を見ていると主要動線外にあるため人通りが少ない。ナースコールを自分で押せる方は良いが押せない方もいる。随時様子を見られるよう、世話人室と短期入所居室の間の壁をガラスにするなど検討してほしい。
- A 事業者： 支援員は世話人室や廊下等巡回している。また、短期入所の利用者の状況に応じて、人員の配置を含め、運用の中で対応していく予定。
- Q 参加者： 1階の世話人室と短期入所の間の壁について、病院等ではカーテンのようなものを設けることで、プライバシーの問題も解消される。利用者個々の状況に応じて臨機応変に対応できると良いと思う。
- A 区： 今後検討していく。
- Q 参加者： 病室内に全館停電電源がある。呼吸器等の電源を途絶えさせていけない方もいるため、各居室に設置をした方がよいのではないかと。

A 区：当初はその予定だったが、先ほどの説明同様、各居室に非常用電源を確保すると電力不足になる可能性があるため、電力供給場所を集約させている。利用者の方にはリビングに集まっていただく。リビングに集まることができない方は、非常時に電源供給がされる居室に入ってもらおう等その時の状況に応じて対応していくことになるかと思う。発電機も別途導入する予定。また、令和8年度になるかと思うが、災害時の対策として、医療機関との連携が必要だということは運営事業者と共通認識を持っている。医療機関との関係づくりも含めて検討していきたい。

A 区：区においても見守り対象者名簿により、地域ごとに非常時に電源供給が必要な方は把握している。非常時の電源は原則各自で確保してもらおう一方で各すこやか福祉センターにも非常用電源を設置している。うまく連携出来たらと思っている。72時間の間に安全な場所として避難していくことを最優先にするには電源分散させるよりを集約していくことが必要。運営に当たってはすこやかやリックとも連携しながら電源供給の確保は行っていく。

(2) 今後のスケジュールについて

①障害者施設係長より、今後の開設までのスケジュールを伝達

②質疑応答

Q 参加者：コンセントの位置が変更不可になる前に図面等見せていただきたい。

A 区：承知した。

以上